

第3回長期振興計画策定市民委員会（第2部会）

日	時	令和7年8月1日（金） 15時00分～16時45分	場	所	第3委員会室
議題・案件等		1．開会 2．議事 （1）これまでの経過等について （2）第7次長期振興計画構成案について （3）基本構想案について （4）長期振興計画体系案について （5）分野別の基本目標について （6）その他 3．その他			
会議資料		資料①－1、①－2：これまでの経過、第2回市民委員会意見交換概要 資料②：長期振興計画全体構成案 資料③：基本構想案 資料④：市の将来像案 資料⑤：政策体系案 資料⑥：分野別の基本目標案			
協議内容					
○協議経過 ■これまでの経過等について 事務局から資料①－1、①－2により、これまでの経過を報告 意見等なし ■第7次長期振興計画構成案について 事務局から資料②により、構成案について説明 【意見】 ・西之表市の主要課題について、②地域力の減退と③担い手不足を逆にした方が良いのではないかと。 ・まず、人口減少・高齢化の進展があり、その影響で担い手が不足している。そして担い手の不足も影響して地域力が減退しているという流れが良いのではないかと。 ・けんこう分野について、目標を書いているが今の目標だと、健康寿命を延ばすことがメインのように感じる。市民アンケート等の結果をみると、医療・介護・福祉において安心性も求められているのではないかと。よって、「安心・安全」という言葉を用いた方が良いと思う。くらし分野にも「安心・安全」が使われているため整理は必要だと思うが。 ・計画のレイアウト案について、SDGsは小さくてよい。それよりも、各施策を進めることでどのようなまちになるのか。を書いた方が良いのではないかと。 ⇒行政がすること（できること）と市民がすること（できること）を各施策のページに記載す					

ることも一つの方法と考えている。

■基本構想案について

事務局から資料③・④により、市の将来像案について説明

【意見】

- ・ 市の将来像は事務局の案2で良いのでは。市の将来像に労力をかけるよりも計画の具体的な中身に労力をかけた方が良い。また、考え方の2行目「国家的役割を果たしています。」ではなく、「国家的役割に寄与しています。」ではないか。市民は国家的役割を果たすために住んでいるのではなく、住んだ結果、寄与しているという表現が正しいと考える。

■長期振興計画体系案について

事務局から資料⑤により、政策体系案について説明

【意見】

- ・ けんこう分野に「担い手の確保」や「人材育成」の施策又は基本事業が入ってくるべきではないか。ひと分野に整理することも考えられるが、これだけ人材が不足しているので、何かしら記載した方が良いのでは。
⇒ 現在、各分野において人材確保対策事業を実施しているが、介護分野であれば「社会保障制度の運営（施策）」、「介護保険制度の安定運営（基本事業）」に位置付けられている。医療分野であれば「健康づくりの推進（施策）」、「地域医療体制の充実（基本事業）」に位置付けられている。その他の分野についても同様、それぞれの施策・基本事業に人材確保対策の事業が位置付けられているところ。農業や水産業、林業は「多様な担い手育成」という基本事業があるが、医療・介護等については特段ないため、人材不足が顕著になっている状況も踏まえつつ、施策や基本事業として記載するのか検討したい。
- ・ デジタル化についてどこにもでてこない。今の時代、デジタル化して効率化を図っていく必要がある。人が少なくなっている今、農業や医療、介護などの分野でデジタル化を進めていくことが重要なので、施策又は基本事業にデジタル化に関するものがあっても良いのではないか。
⇒ 検討します。

■分野別の基本目標案

- ・ 「人々が生まれ育った」ではなく、「人々が住み慣れた」に変えた方が良い。「生まれ育った」だと、移住者は排除されるような印象を受ける。
- ・ 「障がいの有無にかかわらず」という言葉は、庁内検討会の意見と同様に、なくても良いのでは。急に出てきた感じがして違和感がある。入れるのであれば文の途中に入れた方が良い。
- ・ 「子どもからお年寄りまで」は「全ての市民」で良くないか。位置づけられる施策を念頭に表現しているのであれば（子ども・お年寄り・障害の方などを支えるという意図であれば）入れても問題は無いと思う。

■その他

- ・ 中高生アンケートで将来的には帰ってきたい生徒が多いとのことであったが、具体的に何歳くらいに帰ってきたいのか。親として、種子島に帰ってこいとは言わないし言えない。
- ・ 帰ってきてほしいとする年代を50代とするのであれば再就職の確保などの支援が必要で、30代とするのであれば、子育て支援を充実させるなど対策が異なる。その辺も考えていかなければならない。

- ・ 出産したら100万円あげますといったら子どもを産むか。そういう問題ではないと思う。いろんな要因があると思う。

第3回長期振興計画策定市民委員会（第1・3・4部会）

日	時	令和7年8月1日（金） 18時30分～19時48分	場	所	第3委員会室
議題・案件等		1．開会 2．議事 (1) これまでの経過等について (2) 第7次長期振興計画構成案について (3) 基本構想案について (4) 長期振興計画体系案について (5) 分野別の基本目標について (6) その他 3．その他			
会議資料		資料①－1、①－2：これまでの経過、第2回市民委員会意見交換概要 資料②：長期振興計画全体構成案 資料③：基本構想案 資料④：市の将来像案 資料⑤：政策体系案 資料⑥：分野別の基本目標案			
協議内容					
○協議経過 ■これまでの経過等について 事務局から資料①－1、①－2により、これまでの経過を報告 意見等なし ■第7次長期振興計画構成案について 事務局から資料②により、構成案について説明 【意見】 ・ 計画策定の背景のところで、第6次長期振興計画の中で達成できなかったことが出てくると思うが、それらが消されないようにしてほしい。表現が変わることによって、過去の言葉もなかったことに、引き継ぎもされなかったということが無いようにしてほしい。 ・ まちづくり分野について、これまで港町再生の会議もたくさんしてきたが、目に見えて何の動きもない。そういったこれまでの議論も反映させていくということでまちづくり分野としたのか。 ⇒ そうではなく、これまでくらし分野に位置づけていた地域力の向上という施策をぎょうせい分野に移すことを考えている。そうなったときに、ぎょうせい分野という表現よりはまちづくり分野とした方が良いのではないかというのが正直なところである。 ■基本構想案について 事務局から資料③・④により、市の将来像案について説明					

【意見】

- ・ 今の将来像の「育つ」というのが早すぎたのかもしれない。前の時が「生かす」で次が「活かす」でそれから「育つ」でも良かったのかもしれない。「生まれる」の「生かす」はものすごく大事だから、良いのではないか。

■長期振興計画体系案について

事務局から資料⑤により、政策体系案について説明

【意見】

- ・ 水産業の振興とあるが、馬毛島工事の関係で今は振興どころの話じゃない。漁師が戻ってくるのかという話も出てくる。馬毛島工事が始まる前の水産業の振興とは全く異なった状況で考えないといけない。馬毛島問題も絡んでくるかもしれない。きれいな言葉だけでは済まないと思っている。振興というのは、今一生懸命漁をしていて更にどうしようかということだと思うが、それ以前の問題が起きている。今の実態に合わせた形で位置づけていかないとおかしいことになる。
- ・ 公共交通の充実や商工業の振興のところで、航路・航空路の利便性の向上や港町（商店街）の活性化という基本事業があるが、利便性が良くなるためには駐車場の整備が必要となってくると思う。最近よく聞くのが、駐車場がないとか商店街を利用したかったが、車を停める場所がなく利用できなかったということを聞いたこともあるので、整備なども計画してもらえたら。
- ・ 第6次の達成状況はもうわかっているのか。
⇒ 令和6年度取組の結果、全ての数字が出てくるのがまだなので、今ははっきりと答えることはできない。9月の決算の時には数字は出ていると思う。
- ・ 農業の振興は、文言は前回と一緒にとなっているが、第6次の達成率によって、順番が変わってくるのか。基本事業の順番は関係ないのか。
⇒ そこは関係ない。先日の庁内検討会では、21番の産地づくりに関しては名称を変えたいという話が出たところ。次の会議の際には、それぞれの施策・基本事業で取り組むことを示せればと思う。その際には、名称も変わってくると思う。

■分野別の基本目標案

【意見】

（くらし分野）

- ・ 最後の2段落を簡潔にまとめられないか。
- ・ 「関係機関」が多く出てくるが、もう少し、具体的な表現の方が分かりやすいのでは。

（しごと分野）

- ・ 種子島は農業の島なので、「根付いた」という表現が気になる。
- ・ 「人材増を目指し」を「人材・所得増を目指し」とした方が良いのでは。
- ・ 歴史・文化だけ「特有の」と表現されている理由は。
- ・ 観光資源を発信とあるが、どこに向けて発信するのか。

（ひと分野）

- ・ 子どもに関することが多い気がする。